

大島火まつり 文字当てクイズ

今年、市指定文化財になった大島火まつり（8月16日火、午後7時30分点火予定）の文字当てクイズを実施します。

応募方法 はがきに、①今年の火文字 ②住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、8月12日（金）（消印有効）までに富岡市観光協会「大島火まつり文字当てクイズ」係（〒370-2316、富岡1151番地1）へ。はがき1枚につき1文字とし、1人何枚でも応募できます。

賞品 正解者には、賞品（群馬サファリパークペア入園ご招待券）を進呈します。

花火大会

日時 8月16日火、午後8時から約20分間の打ち上げ予定（荒天中止）

打ち上げ場所 和合運動公園（周辺は立ち入り禁止区域となります）

ビューポイント 富岡合同庁舎（田島）駐車場。駐車できる台数が少ないため、乗り合わせ、または公共交通機関をご利用ください。

問い合わせ 市観光協会 ☎62-6001



昨年の火文字



群馬DC特別企画

「駅からハイキング」に参加してみませんか

群馬DC期間中（9月30日まで）、特別企画として、駅からハイキング～世界遺産をめざす街「とみおか」を散策～を毎日開催しています。

駅からハイキングは、受け付けで配られたマップを片手にハイキングや散策を楽しんでいただくイベントです。群馬DCのテーマは「わくわく 体験 新発見」ですので、まちなかを散策し、「とみおか」の新発見をしてみませんか。参加者には粗品のプレゼントがあります。

受付場所 まちかど遊YOUプラザ（予約不要）

問い合わせ 市観光協会 ☎62-6001

駅からハイキング参加者には、マップと共に「とみおかのおもてなし」として、JR東日本小さな旅「富岡製糸場周辺さんぽ」という小冊子を配布します。この小冊子は、富岡製糸場周辺にある観光協会の会員の店舗などにご協力をいただき、割り引きやプレゼントなどの特典が受けられるクーポン券が付属されています。また、同時にスタンプラリーを行い、小冊子に掲載された店舗で食事や買い物をしていただき、各店舗に設置してあるスタンプを押印し、応募された中から抽選で富岡の特産品をプレゼントします。

第17回世界遺産劇場「富岡製糸場」

～世界遺産登録支援プログラム～

著名なアーティストによるコンサートを開催します。

9月17日（出） 「東京スカパラダイスオーケストラ」

チケット料金6,300円のところ

市民優待価格5,040円

19日（月）・祝日 「坂本真綾」

チケット料金5,500円のところ

市民優待価格4,400円

※チケットは、税込みで全席指定になります。

※雨天決行、荒天中止

会場 富岡製糸場中庭特設ステージ

開演 午後6時（開場は午後5時）

市民優待チケット（富岡市民に限る）

○**発売日時** 8月7日（日）、午前8時30分から

○**取扱場所** 富岡製糸場、市役所（観光課）、生涯学習センター

○**取扱時間** 午前8時30分～午後5時（市役所、生涯学習センターは土・日曜日を除く）※生涯学習センターは、8月8日（月）は休館のため取り扱いできません。



東京スカパラダイスオーケストラ



坂本真綾

世界遺産大学「富岡製糸場～ファッションと技術の夢～」

世界遺産候補「富岡製糸場と絹産業遺産群」や日本の絹文化および最先端の技術革新について、各界の第一人者を招き、講演会を開催します。

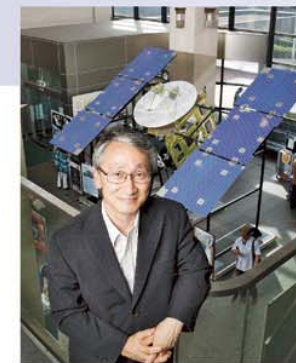
日時 9月19日（月）・祝日、午後1時～3時

会場 富岡製糸場 東繭倉庫

講師 森英恵さん（ファッションデザイナー）
川口淳一郎さん（宇宙航空研究開発機構「はやぶさ」プロジェクトマネージャー）



森英恵さん



川口淳一郎さん

定員 200人

参加申し込み方法 往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、同伴者がいる場合は同伴者の氏名、年齢を明記の上、下記の事務局へお申し込みください。はがき1枚で2人まで申し込みできます。

応募締め切り 9月6日（火）（必着）

申し込み 〒370-2316 富岡1番地

富岡製糸場「世界遺産大学」あて

※応募多数の場合は、抽選の上、当選者を決定します。当選者には、9月10日（出）までに通知します。

「技と美 日本の絹展」

～経済産業省指定 伝統的工芸品展・群馬県ふるさと伝統工芸品展・群馬の絹展～

絹の美を中心に、群馬、新潟、長野などの伝統的工芸品を一堂に会して展示します。期間中は、ファッションショーなども予定しています。

日時 9月16日（金）～18日（日）、午前9時～午後5時

会場 富岡製糸場 東繭倉庫

富岡製糸場へお出かけを 群馬DC期間中（9月30日まで）は市民無料開放

市民であれば無料で入場できますので、この機会に、ぜひ、解説員の案内をお聞きください。

「新指定文化財の紹介」

教育委員会では、次の文化財を富岡市指定文化財に指定しましたのでご紹介します。

名称	おおしまのやくはつとう 大島百八灯
所在地	富岡市大島167番地1、168番地1（城山北面中腹）
指定の種類	富岡市指定 重要民俗文化財
指定年月日	平成23年6月27日



点火用具 左から
麦わら（昭和36年まで）
竹筒（昭和37年から昭和46年まで）
金属製（昭和47年から現在）

大島百八灯は、旧盆の8月16日に大島地区南部城山の北面山腹で行われ、地区の人が点火用具を持ち、山に登り、その年にちなんだ文字を決めて火文字とする行事です。一般には「大島火まつり」と称しています。

当日になると地区の人たちが城山の麓に集まり、保管倉庫にある点火用具を持ち出して城山に登ります。点火場所では下草を焼き払ったり、文字の位置を決める縄を張ったりした後、全員で文字の協議を行います。文字が決まると、文字の形に縄を張り、それによって点火用具を設置し、点火をして火文字とするものです。

点火用具は現在、金属製のものを使用していますが、以前は麦わらをしばって竹の先につけたものが使用されていました。その後、燃焼時間の延長を図るため、竹筒に布を入れ石油を注入した点火用具に変更しています。現在の金属製の点火用具に変更したのは昭和47年からです。

また、点火場所は大島城址の山腹で、上信越自動車道路の通過に伴い、元の点火位置から少し上部に移動しています。大島地区では、過去の火文字の記録は一貫した記録がなかったため、明治元年からの過去の記録をまとめ、その後は、毎年の文字を記録しています。

この行事は、大島地区では和銅年間から行っていると伝えられています。いわれは「羊太夫伝説」に結びついているとのこと、その年の願いを込めて祈願する行事に発展したものです。百八灯は、祖先の霊を迎え、送る盆の行事ですが、大島地区の「百八灯」のように毎年火文字の文字を変える形態は珍しく、祖霊信仰と人々の祈りが結びついた貴重な行事として市指定重要民俗文化財に指定されました。